

村上春樹小説・翻訳書調査票

報告者：

報告日：

原書・標題：

翻訳書・標題：

言語： 語 （注釈： ）

翻訳書・出版社情報：

翻訳書・出版年月日（初版・初刷）：

調査した翻訳書の出版年月日（第 版・第 刷）：

翻訳者：

重訳か？：（ ） 独立訳 （ ） [] 語からの重訳

出版形態： 紙媒体 電子媒体 その他

備考：

（ハードカバー版、ペーパーバック版等のヴァリエーションがあるかどうか、異なる出版社の異版があるかどうか、など）

日本語テキストについて

テキストはともに、新潮文庫版を用いる（スキャン済み）

用例の場所の表示には、「巻番号-頁番号-行番号」という形式を用いる。

巻番号の示し方

『海辺のカフカ』

上巻 K1 下巻 K2

例：

「いったい何が起こったのかナカタにはよく理解できませんし、このように何故かはわかりませんが、もうミミさんとお話をすることもできません（後略）」
(K1-347-9)

『1Q84』

BOOK1 前編 Q1a

BOOK1 後編 Q1b

BOOK2 前編 Q2a

BOOK2 後編 Q2b

BOOK3 前編 Q2a

BOOK3 後編 Q2b

例：

「じゃあ、学校でも困るんじゃないの？ 授業でいろんな本を読まなくちゃならないだろうし、もしそんなに時間がかかるとしたら」

「よんでいるふりをする」と彼女はこともなげに言った。(Q1a-227-9)

調査方針

2016年度は、『海辺のカフカ』を重点的に取り上げ、ナカタさんに限らず、さまざまなキャラクターの話し方の翻訳方法を分析し、原作とのイメージの共通性、相違点等を検証していく。将来的には『1Q84』にも手を広げる。